



Ai Ai GALLERY
2019.7.8-19

あしたもみちか個展
がんばれます。

Ai News Paper

Event & Program

山田祥子 × 幹 miki 2man Live



5/12 クリロード内にあるライブハウス「誰も知らない劇場」にて、山田祥子 × 幹 miki 2man Live ~ Music Inclusion ~ が行われました。満員になった観客の前で、Ai によるオープニングアクトから始まり、宮城在住アーティストの幹 miki さん、CM ソングの「ハレル夜」など、透明感のある歌声で静かに昂ぶっていき、山田祥子さんの「流星少女」や「響いてる」など力強く歌い上げ最高潮を迎え、そしてアンコールでは出演者全員で「世界に一つだけの花」を披露し、終始お客様の温かさに包まれた優しい時間のなか幕は閉じました。舞台の上で歌うことは、ふだん経験できないのでとても良い体験になりました。

どんどこ市

5/25、26の2日間、ぶらんどーむ一番町にて「どんどこ市」を開催しました。両日とも季節外れの暑さの中、ステージでのライブや、マルシェではAiを含め28店の出店があり、たくさんの方が集まり賑わいました。



今回のワークショップは、ぶらりんピックの「禁メダル」を作ろう！こんなメダル作っちゃダメでしょう、という発想で面白いメダルがたくさん出来ました。また Ai 内にも、Music Art vol.7 や、ギャラリーでは同日から 6/30 まで「成田真梨菜 ㊞ 小野寺純一 FantasticWorld」も開催しています。

■ 6/29 (土)、「だれでも creator」。

さまざまな出店によるハンドメイド作品や、マルシェなど Ai にて開催します。

■ 8/10 (土) ~ 18 (日) までの間、Ai はお盆休みになります。

オモテの作品

Artist : みちか

7/8~19に開催する「みちか個展」のDMです。作者のユニークで明るく、やさしい人柄そのものが現れています。明るい児童画風の絵と異なるのは、自分自身と向き合う真摯な姿勢がそこに宿っているからです。

エーアイニュースペーパー
2019年7月号 / vol.4
interviewer : 白戸 健
photographer : Sin Gim
Dtp : Yu-ryu-

イベントを通してみんなの感性を活かしていく。

Ai ではお互いにフラットな関係を築けるよう、親しみを込めて職員をパートナー、利用者をスタッフと呼んでいます。今回は、高橋尚子さんにお話を伺いました。

白戸 : Ai でどんなお仕事をされていますか？

高橋 : イベント担当として働いています。月に一回開催する「だれでも creator」と5月に行う「どんどこ市」などを担当しています。

白戸 : Ai に来る前は何をされてましたか？

高橋 : 元々はハンドメイド作家として活動してました。アフリカ布(アフリカンプリント布。西アフリカで主にナイジェリアのワックス染めをした独特なカラーの布)などで小物やアクセサリーを作って販売してました。

白戸 : 休日は何をして過ごしていますか？また何か楽しみはありますか？

高橋 : 小学校一年生の息子の習い事や家族の用事をこなして過ごしています。元々 TV を観るのが好きでなかなか時間が作れない中で、Netflix でウォーキングデッドを観るのが好きです。

白戸 : Ai でスタッフさんとどんなことをしていきたいですか？

高橋 : イベントを通して色々なことができればいいな、と思っています。Ai はアートが溢れている場所なので、皆さんの感性が活かされたイベントをしていきたいです。



パートナー 高橋尚子さん
東北生活文化大学美術学科で、油彩とタイルモザイクを専攻し学ぶ。卒業後、某化粧品店で、店長業務に勤む。

体験を通してできるんだ、と思える支援を。

アートな福祉事業所 Ai ファクトリーの特徴でもある多様なカリキュラム。今回は UP サイクルの時間を担当されている、蔦谷晃子先生にインタビューしました。

白戸 : カリキュラムの時間は何をしていますか？

蔦谷 : 皆さんが作りたと思うものや、依頼された手芸品を作るお手伝いをしています。

白戸 : その時間の狙いはどういったところにあるんですか？

蔦谷 : 何も狙っていないですけど、完成した時の皆さんの笑顔を見るのが楽しみです。

白戸 : カリキュラムの時間の中であった印象的なエピソードを教えてください。

蔦谷 : 支援学校の実習生を担当した時、最初は自信がなくて暗い顔をしていましたが、仕事の手順を丁寧に示したら、すっかり自信を取り戻して、作業も早く仕上がりも良く、笑顔を見せてくれたことが一番です。

白戸 : このカリキュラムで今後、どんな事を伝えていきたいですか？

蔦谷 : 自分はできるんだ、と思ってもらえるような支援ができればいいと思います。



外部講師 蔦谷晃子先生